

目標達成計画

作成日: 令和 5年 6月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者様で外へ出ると来た道も覚えておらず、途中クレークに近づき物を収集しようしたり、車を確認せずに道路を横断したり、危険な事が多い利用者様がいらっしゃる。そのため職員の人数等状況に応じて付き添いが難しい時は施錠をしている時がある。	施錠をしない	<ul style="list-style-type: none"> 職員一同が完全な施錠の解除を安全に取り組めるように、定期的に話し合いをする。 施錠の時間を増やしていき見守り、声掛けで対応する 	6ヶ月
2	6	ホールで良く過ごされる利用者様には活動をしてもらうことが多いが、居室へ戻られる方は活動の機会が少ない。利用者様の役割や居場所づくりに取り組み、ももえんにいたいと思ってもらえるように支援する。	居心地の良い空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様一人一人にあった活動、レクリエーションでは楽しんでもらう。 できる家事作業に取り組んでもらい、それぞれ役割をもってもらう。 	3ヶ月
3	6	今までも日中散歩に誘ったりしていたが、コロナ禍で最近は短時間、近くを散歩したりしている事はたまにあるが外出の機会は減っている。利用者様によっては、室内ばかりではストレスがたまり出かなくなっているのではないかと。	利用者様と外へ出る時間をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 近隣でも一緒に外に出て利用者様の気分転換を図る。 行きたい場所への外出等普段の話の中から聞き取り、出かけられるようにしていく。 	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。